

QSK

一人は皆のために 皆は一人のために

福岡県脊髄損傷者連合会

2018年12月10日

# わだち

NO. 211

福脊連ホームページアドレス [www.normanet.ne.jp/~ww101926/](http://www.normanet.ne.jp/~ww101926/)

## この国の行方・・・この国について(11)

宝島社が一月、全国紙三紙の朝刊に掲載した広告に注目が集まっている。広告は、読売新聞と日刊ゲンダイに載せた「敵は、嘘」バージョンと、朝日新聞に載せた「嘘つきは、戦争の始まり」バージョンの二種類。

「『敵は、嘘』バージョンは、ローマの彫刻『真実の口』とその口元に手を入れようとしている様子が描かれ、いろいろな人が嘘をついている。子ども頃から『嘘をつくな』と言われてきたのに嘘をついている。陰謀も隠蔽も改ざんも粉飾も、つまりは全部嘘。世界中にこれほど嘘が蔓延した時代があっただろうか。いい年をした大人が嘘をつき、謝罪して、居直って恥ずかしくないのか」と問いかける。」

「『嘘つきは、戦争の始まり』では、濁った暗い青色を背景に、油まみれの水鳥に見えるものが描かれた。油まみれの水鳥は、湾岸戦争本格化のきっかけになった写真に納められたモチーフだ。広告に書かれた「ピーの冒頭でも、『イラクが油田の油を海に流した』その証拠とされ、湾岸戦争本格化のきっかけとなった一枚の写真。しかしその真偽はまだ定かでない」と触れていた。「ポランド侵攻やトンキン湾事件など、過去に起きた事件や争いも嘘から始まった」と振り返り、現代でも「今、多くの指導者が平然と嘘をついている」と主張。「今、人類が戦うべき相手は原発よりウィルスより温暖化より、嘘である」と断言していた。

再選後 「『嘘と、隠蔽』は、バブルのよう沸騰した。

乏しくなりつつある「記憶」を巡り、南スーダン国連平和維持活動(PKO)日報隠蔽(いんぺい)問題を受け、防衛相辞任に追い込まれた。松島氏も、選挙区でのうちわ配布問題で、

## 《わだち目次》

- !この国の行方・・・の問題 (11)・・・1P
- 辺野古移設 さらに長期化・・・4P
- 本紹介・・・5P
- 司法と福祉の架け橋について考える(11)・・・6P
- 貧乏暇あり・・・10P
- “厚労違反隠しか”・・・12P
- 福祉住宅専門店として福岡営業所をオープン・・・13P
- 公務部門における障害者雇用に関する基本方針

今月の時事・・・16P

・・・14P

## 司法と福祉の架け橋について考える(二)

文化体育部長 久保 親志

### 累犯障害者とは

それでは、次に、累犯障害者に対する刑事司法の歩みを追ってみたいと思います。

刑法のいう累犯とは、懲役刑の刑期を終えて五年以内に、再び懲役刑が科せられる犯罪を行うことをいい、その時には刑期の上限が二倍になります(刑法第五六、五七条)。

累犯者の刑が重く処罰されるのは、一度刑罰を科されたにもかかわらず、改悔せずに犯罪を重ねており、それ故に前の刑罰の効果が十分ではなく、初犯者よりも強い責任非難が加えられるからです。

累犯には、再犯とそれ以上の三犯以上があります。

累犯障害者とは、罪を犯す

虞(おそれ)があり、犯罪を繰り返す障害者を指します。

最近の犯罪情勢においては、再犯を問題視することが多くなっているからです。

特に、高齢者や障害者の犯罪や再犯が顕著です。

その理由としては、彼らにとって「監獄」といわれる場所は、刑務所の中よりも、むしろ塀の外の社会にあるのではないでしようか。累犯障害者に「刑事訴訟法」の規定する訴訟能力や受刑能力が備わっているかどうかは、極めて疑わしいと思われれます。

しかし、身元引受人や受け入れ先もなく、また、自力で再就職し、生活の基盤を作ることも困難なため、刑務所に

入らなければ生きることすら危ぶまれ、検察官や裁判官もやむを得ず、受刑させている感もぬぐえませんが、刑務所が彼らにとって「最後のセーフティネット」となっている実態が示すことから明らかだと思えます。同じく、知的障害者の犯罪や再犯も起こっていますが、現在まで「等閑視」されて来ました。

しかし、平成一三年に秘書給与流用の罪で実刑判決を受け黒羽刑務所に収監され、受刑中に「障害者の世話係り」を担当するという経験をふまえ、実際に累犯障害者と共に四三三日に及んだ獄中で生活を送った。元衆議院議員の山本讓司氏が、出所後に自身の体験談とその後の追跡調査などから獄中生活を綴った『獄窓記』をはじめ『続・獄窓記』『累犯障害者』が大きな反響を呼んだのです。

その後、「累犯障害者」の実態が明らかになって来たことは、すでに、みなさんご存知のとおりです。

### 刑務作業の矛盾点

筆者によれば、全ての受刑者は入所後、作業の適応力を調べるための能力検査を受けますが、その結果によると全受刑者のうち四分の一が知的障害者(法務省の矯正統計年報によれば、新受刑者のうち、知能指数六九以下の人は、二二パーセントを占めている)であったといえます。

また、彼らが刑務所内で行う作業は、一つの箱の中の六種類の色のロウソクのかげらを色ごとに六つの箱に分ける「仕分け作業」や結んだ紐の結び目をほどこ続ける作業など、およそ生産性をあげる労働とは呼べないものばかりであると述べています。

# 貧乏暇あり

北九州支部 白川長廣

小倉の繁華街魚町を抜け、さらに小倉の胃袋、巨過市場を抜けると、人波は途絶える。平和通りを横切り、商工貿易会館横を川沿いに少し行くと、無法松の碑が見えてくる。



小さな公園である。無法松は、小倉の作家、

岩下俊作の作品「富島松五郎伝」に出てくる、作品上的人物である。その小説を基に、映画化された「無法松の一生」彼が叩く乱れ打ちで、祇園太鼓は一躍有名になった。



また、無法松・富島松五郎も、あたかも実在した人物であるかのように、語られるようになった。

『古船場三丁目・独身者の松五郎が住んでいた町で、この町は俵夫、羅宇の仕替、香具師、土方等の自由労働者達

が大勢住んでいた。そして、この町には木賃宿が三軒もあって、渡り鳥の様に町から町へ漂泊する猿廻し、オイチ二の薬売り山伏等がいづも一杯だった。富島松五郎伝より』と記されている。公園の角を左へ路地に入ると、天満宮があった。



鳥居と重なってしまったが、鳥居の向こうは、ビルである。鳥居には、「宝曆五乙亥年九月」とあった。調べると17

55年、260年前である。



由緒書きを見ると、豊前小倉半初代藩主小笠原忠真ゆかりの天満宮のよつである。

鳥居は、150年後に建てられたことになる。

新しい街に、古い歴史がしっかりと佇んでいた。

鳥居を写して、後ろを振り返ると、大きなイチヨウの木が見えた。ちょっと気になり、行ってみると、古船場公園に植わっているイチヨウであった。古船場公園は、広いシンブルな公園である。公園に入るには、段差がある。

敷地内は、スロープ化して

労災保険の各年金給付額には「スライド率を乗じることになっていますが」毎月勤労統計の「統計不正により」スライド率が計算されていませんでした。勤労統計とは労働者の毎年の収入(賃金)集計し、賃金が上がった分の伸び率を用いて(スライド率)年給付額は引き上げられます。年金給付者には「スライド率改定による変更決定通知書」が送付されています。確認して下さい。

### 追加給付の対象となる可能性がある方

○労災年金及び休業(補償)給付の給付額の査定に際しては、原則として、個々の被災者の被災時に置ける平均賃金を基に査定した給付額に基づき給付することになっています。ただし、補償効果が目減りすることを防ぐため、基礎日額に「スライド率」を乗じています。

○また、給付日額には最低水準を定めており、かかる金額を下回る方に対しては最低水準に自動的に変更されます(最低法少額)。

○スライド率及び裁定保証額は、毎月勤労統計の「決まって支給する給与」の伸び率を用いて査定しておりますが、毎月勤労統計の再集計値等を用いて再計算を行い、上方修正された場合、追加給付が必要となります。平成16年7月以降に次の給付を受けた方のうち必要な方に追加給付を行いません。

※傷病(補償)年金・障害(補償)年金・遺族(補償)年金・休業(補償)給付・傷病特別年金・障害特別年金・遺族特別年金・遺族と区別一時金・休業特別し給金等

## 一寸先は闇~ぼっと!!生きていられない!!のだー

“厚労省反隠しか”  
 “闇取り「身内」なリ制”  
 厚生労働省の統計不正問題で、「賃金構造基本統計」の担当部署がルール違反の「郵送調査」を行なっていることを明かさずに、本来の「調査員調査」から「郵送調査」への変更について昨年一月に総務省に相談していたことが、二十九日分かった。不適切な調査を認識しながらルール変更で隠そうとした疑いがある。厚生労働省は二十九日、外部有識者による特別監査委員会が調査対象とした厚労省職員・元職員三七人の聞き取りについて、七割近い五人分を「身内」の同職員が行なったと発表した。有識者による聞き取りは二〇人と説明していたが、実際は二人だけだった。問題は、「風間直樹議員が、首相は「今回の再集計により下方修正となった一八年各月の伸び率の数値のみを示し

て、「アベニックス」の成果ありと自賛した数値の根拠が崩れた」と指摘した。首相は「各月の伸び率の数値のみを示し、アベノミックス成果である協調したことはない」と反論した。(一ノ三〇朝日新聞朝)さらに、五日の衆議院予算委員会で、厚労省の大西康之・前政策統括官の招致を求められたが応じず、大西氏は一日に官房付に移動され、与党は「現在担当でない」と拒否。(隠遁の術)か。また、「特別監査委員会」が本来「調査」すべきであるが、職員が「調査したものの報告を聞いただけ」(一月九日)であった。統計担当者の招致を全て拒否。「解明」は、「政権の生命線」に多大に影響するからだろう。世界的にも「各国大問題」を抱えている。世界経済の「動行」気になる、いつ弾けるか。「予断を許さない。秒読みの危機感を拭えない年明けだ。(おだ)

## 福祉住宅専門店として 福岡営業所をオープン

福祉住環境整備を福祉機器と建築の視点から、ご提案と施工まで、一貫して行っている工務店です。

北九州市で創立五〇年を迎え、この一月、新たに、福岡営業所を開設しました。事務所はバリアフリーで、トイレは車いす対応です。



せや待ち合わせ・相談の場所としてもご利用いただければ幸いです。

みなさま  
まの打ち合わせ



■浴室に移乗台設置  
床から車いすに上がることができなくなりました。車いすから直接、移乗台へ、移乗台から浴槽へ。年末になり寒くなった時に、お湯に浸かることで身体があたたまったと喜んで頂きました。



車いすをご利用の方の補助金を利用した住宅改修、退院後の生活のための改築、新築、福祉機器の設置等、ご相談ください。昨年、行った事例の一部を紹介します。

### ■増築

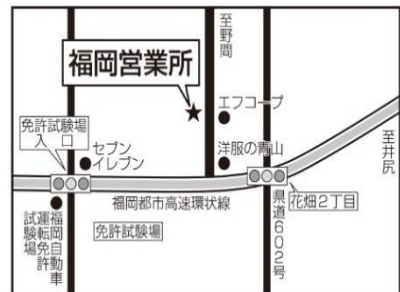
事故で脊椎損傷になり、全介助が必要となりました。寝室を玄関横に増築し、段差解消機を設置し、移動介助が楽になりました。



### 株式会社神崎工務店 福岡営業所

福岡市南区花畑 1-20-38(若久通り)  
TEL092-980-4953 FAX092-980-6893

担当:吉村 090-4105-6652



《 今月の時事 》

“ 10歳のSOS ”なぜ救えない！！なぜ、また起きたのか？千葉・野田、小4心愛さん死亡～記事、「少女の発した、SOSを誰か受け止めることはできなかったのか。千葉県野田市の小学校四年生、栗原心愛（みあ）さんが死亡した事件は、長期にわたって虐待の兆候が確認されていた。』しかし、学校も行政も地域も踏み込まず、命を守れなかったのか」（2月2日朝日新聞朝刊35P記事）から。非常に驚いたのは、『市によると心愛さんが父親からの暴力を訴えた翌日、担任が聞き取りしていた後、千葉県柏児童相談所は、右ほおにあざがあった心愛さんを一時保護した。市が、1日に公開したアンケートのコピーには、担任の字で「きのうたたかれた、あたま・せなか・くびをけられた。今もいたい」「口をふさいで、ゆかにおしつける→自分の体だいじょうぶかな？」など書き加えられていた。』問題なのは、同コピーを市教委は、父親に求められ渡したことは、「重大な問題で過失」である。父親が「脅迫的に求めたにせよ」脅迫に対しても、児相や警察・法律家と連携していれば、渡すことは、なかったはず。その直後、心愛さんは転校した。だが、その後も虐待に気づく機会があった。転校後、父親から長期欠席の連絡、（1月7日・11日）を受けながらも、自宅訪問などをしていないという。転校も父親の意図的な行動であろうと思う。転校先の学校との連絡は取っていたのか。長期欠席になんら「疑問」を持ちえなかったのか？幼い命が奪われる度に「関係機関との連携やノウハウの共有の大切さは何度も指摘されてきたのに、何故、繰り返してしまうのか。関係機関の連携を猛省の上、緊急に対処することを求める。これ以上、「小さな命を奪われないように」するために。原稿を送信する2月6日の朝日新聞朝刊1面に、「お父さんに叩かれたのは嘘」「児相の人あいたくない」！父、女兒に嘘をかかせる一。見出しである。同書面は、県柏児童相談所に見せていた。児相は不審に思ったが、心愛さんに確認せず。両親宅への帰宅を認めたといい！驚愕である！！事態から何故に逃げるのか！（しん）

会員・賛助会員の皆様、是非是非 意見・提言・雑感・本誌の感想など何でも可能。投稿をお願いします。事務メール添付・郵送・FAX等で送ってください。どうぞよろしくお願い致します。

- 編集 福岡県脊髄損傷者連合会 会長 藤田 幸廣  
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7  
福岡県総合福祉センター（クローバープラザ）内6階  
TEL&FAX：092-592-4528  
E-Mail：fukusekiren-kasuga@cello.ocn.ne.jp
- 発行 九州障害者定期刊行物協会 頒価100円（会費に含まれる）〒812-0024 福岡市博多区綱場町1-17  
福岡パーキングビル4階

編集後記  
編集者ですが、インフルエンザのニュースは、聞かなくなりましたが、はしか・花粉症をよく聞きます。（坂本）



この広報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。